

## 「白馬議会の活動と運営」の検証に関する陳情書

平成 21 年 3 月 2 日

(陳情者)

住所 白馬村北城 11020

白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会

会長 宮田 温巳

電話 72-7601

白馬村議会議長

西澤 功 様

(要旨)

新ごみ処理施設建設計画における住民アンケート調査結果を踏まえ、白馬議会の活動を検証し、村民に報告してください。

(理由)

白馬議会は、私どもの「白紙撤回を求める住民過半数署名」を添えた陳情を長期にわたって継続審査扱いとし、最終的には不採択としました。

しかしながら、住民アンケートの結果はいみじくも 1 年半前の過半数署名と同じ結果を示しました。議員の大多数が村長判断に追随し、過半数署名の重みを受け止めることなく、長期にわたって村政に空白を生じさせたその責任は重大です。議会はその責任を明確にし、それを村民に報告すべきものと考えます。

一方、視点を変えれば、今回のアンケートに至る年月は決して無駄だったとは考えません。高い回答率に見られるように、白馬村民の大多数が「ごみ問題」を自分の問題として考え、判断に参加した「住民参加」は意義のあることでした。それは、今後の村政に大きな影響を与えるものと考えます。

ごみ問題にかかわる議会の責任を明確にし、高まった村民意識を今後の村づくりに活かすためにも、以下のような観点での検証は欠かせません。

村民にとってより身近で信頼される議会となるためにも、胸襟を開いた自由闊達な検証と、村民への報告を望みます。

1. 議員は住民の代弁者としての自覚があったか？
2. 民意をくみ取り反映させる議会運営だったか？
3. 行政のチェック機関としての機能を果たしてきたか？